

放射線サーベイ検査について

1. 地域の医療機関や保健所などにお問い合せください。（広島県の方は、広島県健康福祉局にお問い合せください。）
2. サーベイ検査の結果、放射性物質の除去（除染）が必要な場合があります。
3. ヨウ素剤はアレルギーをひき起こしたりすることがあります。また、イソジン、ルゴールなどの消毒用ヨード剤にはアルコールなどが含まれているため危険です。安定ヨウ素剤の内服は、医師の指示に従ってください。

サーベイ検査とは

- サーベイメータで体の表面の汚染を検査します。サーベイメータを体の表面にかざすだけです。痛みはありません。通常数分で終了します。
- 広島大学では、3月18日までに100名以上のサーベイ検査を行いました。全員「異常なし」でした。



体に付着した放射性物質の除去（除染）

サーベイ検査で放射性物質による汚染が検出された場合は、専門家による汚染の除去（除染）が行われます。

- 衣服
 - 衣服を脱ぐことで、放射性物質の90%以上が除去される。
 - 脱いだ衣服はビニール袋に密封して保管する。（洗濯することにより汚染は除去されます。）
- 頭髪の除染
 - 湿った布で毛先に向かって拭き取る。
 - シャンプー（または中性洗剤）を用いて洗い流す。
- 傷がない皮膚の除染
 - 湿らせたガーゼ等で拭き取る。
 - 汚染が残存する場合は、中性洗剤や除染剤（オレンジオイルクリーム等）を使用して拭き取る。

安定ヨウ素剤の服用

- (注意!!) イソジン、ルゴールなどの消毒用ヨード剤にはアルコールなどが含まれているため危険です。内服用の安定ヨード剤を服用してください。
- 原子力発電所の事故により大量の放射性ヨウ素が放出されたとき、その地域に長時間滞在する場合、あるいは滞在した場合に、甲状腺を守るために予防的あるいは早期に服用する薬です。
- 安定ヨウ素剤は、副作用や飲んではいけない場合もあるため、内服する場合は医師の確認が必要です。
- 放射性ヨウ素の防護剤である安定ヨウ素剤（ヨウ化カリウム、KI）は丸薬、散剤、内服液（散剤をとかしてシロップを加えたもの）の3種類あります。
- 効果は1日持続。2日目の投与より避難を優先してください。
- 妊娠中・後期の妊婦と小児への投与が重要です。40歳以上の成人に対する投与の必要はありません（妊婦には必要です）。

安定ヨウ素剤の危険性

- 胎児または新生児の甲状腺機能に影響を及ぼす危険性があるため妊婦・授乳婦にも頻回投与は行いません。
- 副作用
 - 過剰量を長期服用すると甲状腺機能異常を引き起こすおそれがあります。
- 禁忌（内服してはいけない場合）
 - 造影剤過敏症、低補体性血管炎、ジューリング疱疹状皮膚炎、ヨウ素アレルギー

放射線の強さと人体影響

自然放射線

放射線の強さ

